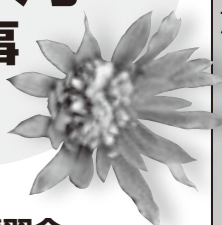


写真で振り返る 2・3月の 出来事



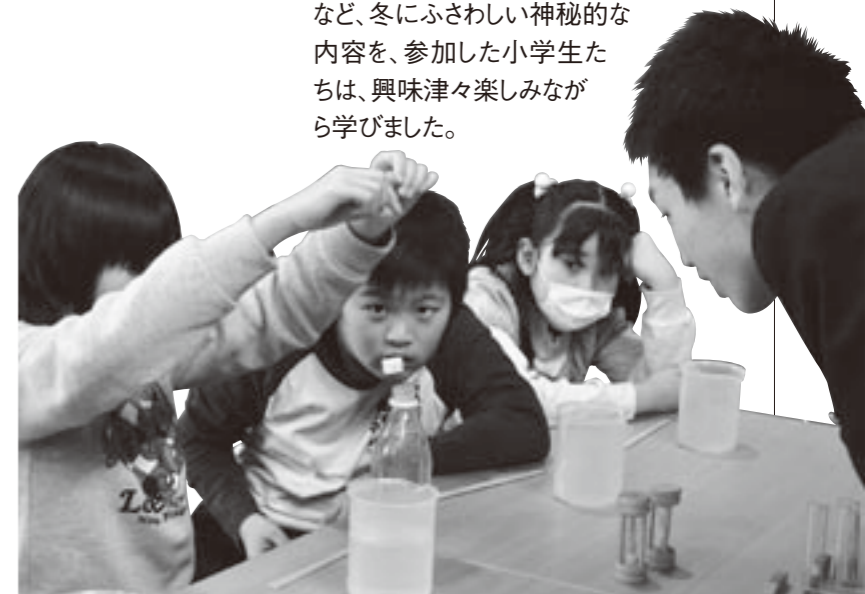
2/24(金) 接遇講習会



町内事業者の接客マナーの向上を目指して、喜茂別町の主催により、農村環境改善センターを会場に接遇講習会が行われました。講師として、キャリア・コンサルタント金木利恵さんを迎え、町内の事業者や地域おこし協力隊、役場職員など10余名が参加し、やや緊張した面持ちで研修を受けました。

2/25(土) おもしろ科学実験教室

昨年度に続き、倶知安高校の保格秀規先生による「おもしろ科学実験教室」が、喜茂別小学校体育館で開催されました。今年のテーマは、「雪と氷の科学実験」。中谷宇吉郎教授の没後50年を記念して、雪の結晶を人工的に作る実験をはじめ、あつという間に水が凍る過冷却水の実験、ダイヤモンドダストの発生実験など、冬にふさわしい神秘的な内容を、参加した小学生たちは、興味津々楽しみながら学びました。



2/21(火) 読書感想文コンクール表彰式



第29回となる読書感想文コンクール表彰式が、農村環境改善センターで行われました。

小学校の部では、藤田あゆかさん(喜小1年生)、酒井愛子さん(喜小2年生)、丸屋百愛さん(喜小3年生)、山田桃瑚さん(喜小4年生)、小出悠希くん(鈴小5年生)、越後美咲さん(喜小6年生)、菅原悠矢くん(喜中3年生)の7人が最優秀賞を受けました。

2/24(金) 喜茂別保育所元氣まつり



例年になく寒さが厳しく積雪の多かった今年の冬にも負けないよう、喜茂別保育所の元氣まつりが行われました。春から小学校の新1年生になるぞう組14人によるアイスキャンドルの点灯式が行われ、生山将昭さん手作りの立派なアイスキャンドルが、美しく揺らめき輝きました。記念撮影やフォークダンスのあとは、パン食い競走で会場が盛り上がり、最後に、花菱会による本格的な花火が子どもたちの歓声を誘いました。



2/25(土) 双葉そば教室

今年第2回目の双葉そば教室が、双葉克雪センターを会場に行われました。札幌などから毎回来て、いまや地域や町内の方ともすっかりおなじみとなった、そば打ちグループ白花の方々が、初心者から上級者まで、そば打ちの奥義を伝えます。毎回参加するリピーターから新たに参加する方まで、毎回のように裾野の広がりを感じさせます。今回は、3月20日(火)です。

3/2(金) 喜茂別町・真狩村高齢者学級交流会



喜茂別町のフレッシュ大学と真狩村桂長寿大学の交流会が、農村環境改善センターで行われました。第19回目となる今年は、喜茂別町が開催地です。はじめに故三浦信夫フレッシュ大学委員長の冥福を祈って黙祷を捧げたあと、麻生隆教育長の歓迎の言葉、村上誠フレッシュ大学副委員長等のあいさつが続き、包括支援センターの岩原契子保健師による講話がありました。その後、食事をしながら芸能発表を楽しみました。

3/3(土) 七飯町・喜茂別町を結ぶ 高齢者親睦交流ゲーム大会



任天堂Wiiを使い、このゲーム体験では先輩格の七飯町の高齢者たちと、初めての「ひな祭り高齢者ゲーム大会」が、ふれあい福祉センターと七飯町の会場を光フレッツの映像で結んで行われました。両町の町長から映像を介してあいさつがあり、早速ゲーム開始です。「早切りベジタブル」「ふんばりたるハードル」「アイスクリームチャレンジ」など、体と頭脳と感覚を総動員して戦うゲームに、参加者は夢中でした。

2/26(日) 全道子どもかるた大会

1月22日の後志大会を2位で勝ち抜いた中学生チームが、定山溪ビューホテルを会場に戦われる全道大会に参加しました。チーム名「喜茂別・雪」の選手たち、山本沙衣さん(中1)、田嶋菜々子さん(中1)、工藤那奈さん(中1)にとっては、初めての全道大会です。1回戦の対戦相手、鶴居村「雪裡のクラウン」中2チームに惜しくも破れましたが、最終局面で田嶋さんの粘りが緊迫したゲーム展開を見せました。



3/10(土) 認知症予防講演会

認知症について、ふれあい福祉センターで講演会が行われました。包括支援センターの岩原契子保健師は、認知症は誰でもなりうる病気であることや、認知症になっても自分らしく生き続けたいと言う欲求は変わらないのでその想いに寄り添う介護が必要であることなどについて話されました。健康運動士の森脇俊文さんも、健康づくりに適した簡単な運動が認知症防止にも役立つことを、体を動かしながら分かりやすく話しました。



3/10(土) チェルノブイリ・ハート上映会

原子力発電所の危険性について、チェルノブイリ原発事故に関する記録映像「チェルノブイリ・ハート」をもとに考えてみよう、という上映会が、住民有志実行委員会の主催により、農村環境改善センターを会場に行われました。泊原発を抱える後志管内の各市町村の住民有志でネットワークを形成し進めている上映会ですが、喜茂別町でも70人以上

の参加者が、原発事故による内部被爆の恐ろしさを紹介する衝撃的な映像に、視線が釘付けとなりました。

